

謹 本年も何卒富 よろしく んで新り 春 お 願 のお慶びを申し 山 **١** ٧ 市農業協 **( )** た しま 同 す 組 上 ーげま 合を



す

代

監

 $\blacksquare$ 

堂

常

勤

谷

中  $\blacksquare$ 高 赤 藤 福 金 中 稲 林 安 村 村 安 島 Ш Ш  $\blacksquare$ Ш 野  $\blacksquare$ Ш

良貞 伸 正 洋 長 重 敬 宗 伸 俊 同雄昭 範郎 生昇則和治和 勲 一諭

# 平成31年 年頭のご挨拶



代表理事組合長 村 長

新年明けましておめでとうございます。

えられましたこと、心よりお喜び申し上げます。 皆様におかれましては、ご家族と共に清々しい新年を迎

化が予想されることから米の需給と価格安定に実効性の になり、各都道府県の様々な対応の結果、産地間競争の激 PP協定が国会で承認され、発効する運びとなり、将来的 穏やかな日々が訪れますようお祈り申しあげます。昨年は ある取組みが課題となっています。一方、富山米新品種 交付金が廃止となり、需要に応じた生産へと転換すること が見直され、行政による生産数量目標の配分及び米の直接 す深刻化しています。また、平成三十年産から国の米政策 に、農業者高齢化等による担い手や労働力の不足がますま な国際化の進展の中で国内農業への影響が懸念されると共 は、明るく元気な一年となるよう切に願うところであります。 自然災害等の頻発により大変な一年でありましたが、本年 様には心よりお見舞いを申しあげますと共に、一日も早く は二〇〇四年に続いて二度目となるそうです。被災地の皆 字として「災」が選ばれました。この「災」が選ばれたの ランティアに注目が集まったことにより世相を表す漢字一 よって多くの人が被災したことや、災害復興を支えるボ 本豪雨、相次いだ台風や記録的な猛暑などの自然災害に さて、農業をめぐる情勢におきましては、昨年三月にT 昨年は、島根、北海道及び大阪で発生した地震、西日

> ころであります。 も大きいことから作付面積拡大への条件整備が迫られると 「富富富」が、本年、デビュー二年目を迎え、県民の期待

案が決議されました。 己改革の実践による元気な富山県農業の実現」に関する議 いて昨年十一月開催の第四十七回JA富山県大会にて「自 このように厳しい農業情勢の中、本県JAグループにお

ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

また、昨年中は青年部活動に対し、多大なご支援と

るため次の三項目を基本目標として実践してまいります。 取組むと共に豊かで暮らしやすい地域社会の実現に貢献す 我々は、地域農業を支え、農業者の所得増大に引き続き

三、メンバーシップの強化と「食」「農」「協同組合」に 二、自己改革を支える組織・事業・経営の再構築 一、「農業者の所得増大」「地域活性化」へのさらなる挑戦 かかる理解の醸成であります。

としての役割を担っていく必要があります。 い等により農業にかかる諸課題を協議し、信頼されるJA 中期経営三ヶ年計画を策定し、組合員との徹底した話し合 当JAでは、これらの基本目標を達成するために新たな

の総合サービスを展開する組織体となるよう自己改革を進 検討を重ねる一方、組合員・利用者の皆様にこれまで以上 にあたります。当JAにおきましてもこの研究会に参画し、 広域合併に関し様々な検討を行い、より詳細な調査・研究 村・JA富山市)は、本年一月に合併研究会を発足させ、 山市内の四JA(JAあおば・JAなのはな・JA山田 併せてこの基本目標の実践に向け、同一行政区にある富

とご多幸をご祈念申し上げまして新年のご挨拶といたします。 力を賜りますようお願い申し上げますと共に益々のご健勝 結びとなりますが、本年も引き続き、皆様のご支援ご協

# 青年部委員長 桑 名 亮太郎

をお迎えのこととお慶び申し上げます。 青年部並びに関係各位の皆様には、ご健勝にて新年 新年明けましておめでとうございます

ろであります。 多くの唐辛子類が栽培されている『とんがらし芥川』 年試験的に栽培されたキャロライナリーパーをはじめ 商品化できないかと試作品を作り、検討しているとこ 培した唐辛子類を使い、富山市農協青年部として何か さんへ行かせていただきました。現在、青年部では栽 良県での視察研修が思い出されます。奈良県では、昨 昨年の青年部活動を振り返ってみますと、6月の奈

があるように、今までの青年部活動から感じた事、得 ば農業祭にも参加させていただき、富山市農協青年部 営、そして地域農業に貢献できる組織になれるよう努 たものを活かし青年部として新たな時代のJA事業運 積極的に参画し、JA運動の先頭に立つ。』と言う一文 年組織綱領に『われわれは、自らがJAの事業運営に す。我々、青年部の目指すべき方向性を示したJA青 年部活動に活かし活動の幅を広げていきたいと思います。 てた一年となりました。交流から得た刺激を今後の青 奈良県、そして富山ブロックと昨年は多くの交流を持 のPRと富山ブロックとの交流をしてまいりました。 ている青年部との交流も行いました。秋にはJAあお 本年は、新元号になり新しい時代の幕開けとなりま また、奈良県の特産品である『柿』を中心に生産し

よろしくお願い申し上げ新年のご挨拶といたします。 本年もJA関係各位の皆様のご指導ご鞭撻のほど、

# 平成31年 今年お世話いただく生産組合長 (敬称略)

どうぞよろしくお願い申し上げます

凿

抽

区

堀

地

南支店

地

 青大
 上
 中
 市
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品
 品

 石
 経
 売
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日
 日

귶

地

ヌ

中央支店

籍清 西 長 中 秋 天 町 古 古 東 流 流 流 西 野 斯 中 川原 鬼 市 吉 寺 北 中 南 新 道 保 華 子 正 久 隆 黄 光 良 春 樹 樹 治則 一 寛 郎 保 雄 優 志 之 志 誠 昌 徳 雄 蔵 春 樹 樹 別

据川町 松 田 孝 之 中 瀬 西 村 安 幸 之 中 瀬 西 村 安 幸

# 平成30年度水稲の作況状況と次年度対策

富山県内平成30年産米の作柄は、反収552kg(前年対比で6kg増)で作況指数は102となりました。

富山市農協管内の上位等級比率は全体で85.4%(12月25日現在)となり、前年の87.3%を下回る結果となりました。 今年は、育苗期間が平年に比べ概ね高温で推移したことから苗丈は近年より長く、全般的に育苗病害の発生は少ない年となりました。

出穂期は「てんたかく」で7月21日頃、「コシヒカリ」は7月30日頃と平年より2日程度早くなりました。登熟期は、8月に入り、高温多照の日が多く、降雨が少なく経過し、平年よりも登熟が進み、成熟期については、「てんたかく」で8月23日頃からと昨年より4日程度早くなりました。「コシヒカリ」についても平年より早く、9月7日頃となりました。

品質面では、「てんたかく」については、斑点米の発生防止に向けた防除対策が徹底されたことにより、上位等級比率は高い結果となりました。「コシヒカリ」については、登熟期間中の高温やフェーンによる胴割れが懸念されましたが、収穫までの適切な水管理により、上位等級比率は平年並みの結果となりました。

# ■ 平成30年産米の出荷数量と上位等級比率

平成30年12月25日 現在

地	種	出荷契約数量	集 荷 数 量	集 荷 率	1等以上出荷数量	上位等級比率
区	類	袋/30kg	袋/30kg	%	袋/30kg	%
太	うるち	52,969	47,579	89.8	43,129	90.6
	もち	926	920	99.4	0	0.0
田	計	53,895	48,499	90.0	43,129	88.9
新	うるち	15,319	17,521	114.4	10,808	61.7
	もち	26	46	176.9	0	0.0
保	計	15,345	17,567	114.5	10,808	61.5
熊	うるち	40,967	39,028	95.3	34,861	89.3
	もち	832	796	95.7	246	30.9
野	計	41,799	39,824	95.3	35,107	88.2
月	うるち	34,814	30,734	88.3	26,208	85.3
	もち	468	402	85.9	0	0.0
岡	計	35,282	31,136	88.2	26,208	84.2
蜷	うるち	11,016	12,097	109.8	11,622	96.1
_	もち	155	136	87.7	38	27.9
Ш	計	11,171	12,233	109.5	11,660	95.3
堀	うるち	7,216	7,493	103.8	6,685	89.2
	もち	171	162	94.7	67	41.4
Ш	計	7,387	7,655	103.6	6,752	88.2
山	うるち	14,165	12,845	90.7	11,351	88.4
	もち	211	232	110.0	0	0.0
室	計	14,376	13,077	91.0	11,351	86.8
本	うるち	1,386	1,445	104.3	1,445	100.0
	もち					
店	計	1,386	1,445	104.3	1,445	100.0
合	うるち	177,852	168,742	94.9	146,109	86.6
	もち	2,789	2,694	96.6	351	13.0
計	計	180,641	171,436	94.9	146,460	85.4

# 平成31年産に向けての重点技術対策

- (1) 土づくり対策の実施
  - ・作土深15cm以上の確保
  - ・珪酸質資材・含鉄資材・カリ資材等土壌改良資材の確実な施用
  - ・堆肥や地力増進作物など有機物の施用
- (2) 適正な田植作業の実施と初期の水管理の徹底
  - ・コシヒカリの5月15日を中心とした田植えの確実な実施
  - ・播種日は4月25日を中心とし、育苗日数は20日間以内を目安とする
  - ・栽植密度は原則70株/3.3㎡を確保
  - ・生育初期における浅水管理(水深3㎝)の徹底
- (3) 中干しの確実な実施と適切な水管理
  - ・6月上旬の溝堀りと田植後1か月までの中干しの実施
  - ・幼穂形成期以降は飽水管理

- (4) 生育・気象状況に応じた穂肥施用
  - ・穂揃期の葉色を4.2~4.5に誘導(砂壌土は4.5)
- (5) 病害虫防除の徹底
  - ・カメムシ類による斑点米の発生防止
- (6) 登熟期間の適切な水管理
  - ・出穂期から20日間の湛水管理の徹底
- (7) 適期刈取りの励行
  - ・青米・胴割米の防止
- (8) 適切な乾燥調製
  - ・玄米水分14.5~15.0%の徹底(毎時乾減率0.8%以下での乾燥)

# 第47回 JA富山県大会優良生産者表彰

昨年11月20日(火) 富山県 J A会館において第47回 J A富山県大会優良生産者表彰式が執り行われました。 当農協管内より 6 名の生産者が受賞されました。誠におめでとうございました。

(写真左から) (敬称略) 新保: 蜷川 堀川 山室地 熊野地区 月岡地区 中 長 Ш 北 津 飯 坪 井 下 野 田 克 有 洋 勝 清

子

宏

徳

友

慎

博



# 平成30年度 第39回 優良組織・優良生産者 第53回 農産物品評会

昨年12月4日(火)本店3階会議室において、 第39回 優良組織・優良生産者及び第53回農産 物品評会の表彰式が執り行われました。受賞者 の皆様、誠におめでとうございました。

優良組織
太田地区
営 農 組 合城村協業集落

優良:	生産者	皮表彰者	当の方々	?(敬称	(略)
山室地区	堀川地区	蜷川地区	月岡地区	熊野地区	新保地区
野村栄光	西村安幸	村井剛	小路俊夫	廣瀬富雄	江添良作

# 第53回 農産物品評会受賞者名簿(敬称略)

中央	青果社	長賞	全農智	富山県本	常賞	市農	業振興会	会長賞	市	ī 長	———— 賞	組	合 長	賞	特賞名
里	ネギ	白菜	ネ ギ 20 本	大根 5 本	大根	柿	かぶ 5 ケ	大根	大根 5 本	かぶ	里	黒豆	サツマイモ	コシヒカリ	品目
新保	新保	太田	堀川	太田	山室	堀川	堀川	熊野	堀川	新保	堀川	堀川	堀川	新保	地区
田村勢津子	中坪清慎	稲田久美子	福田	稲田久美子	西野良蔵	松田宗和	桃井久信	野菜 3 K 会	上野正憲	株大平園芸	桃井久信	水林	福田勲	中坪清慎	氏名





~ 審査の様子 ~

地域のみなさまに農協を身近に感じていただこうと始めた「とやまのゆる活」講座も今年で 2年目となり、全8回の講座が修了しました。「農家のための農協と思っていたが、一般人で も利用できることがわかった。」や、「親しみをもてた。」など、たくさんのお声をいただきま した。これからも、みなさまの声を大切に、地域に根付いた親しみのある農協であり続けます。

# 第1回 山菜採りツアー

# 第2回能作&大越仏壇ツアー

# 第3回ソーセージ作り教室

# 第4回こどもと一緒にDIY教室



たくさん収穫できました!



■みなさん、真剣です!



■ 気持ちがこもった手作りです!

第7回 米パン作り教室



世界でひとつのオリジナル品です。

第8回フラワーアレンジメント教室

# 第5回 寄せ植え教室



感性が発揮されました。

〈アンケート結果〉

# 第6回ますずし作り体験教室



ちで歓声があがり楽しいひとときを過ごしていた

15日にはクリスマスキャンドルづくりを行い、

年金友の会の活動の様子を展示しました。

農業祭ならびに中央支店感

展示し、多数の組

こに必要な商品を

■とやまの逸品に挑戦しました。■愛情込めて作りました。

きました。

■男性陣も花が大好きです。

# 〈とやまのゆる活〉 1年間を通して 楽しめましたか? 0%

■とても楽しかった ■楽しかった

品をご提供できるよう努めてまいりますのでよろ 今後も皆様に喜んでいただける商 ご来場いただきありがと



15日(土)の両日 など、毎日の暮ら 開催されました。 に家電製品、 ア2018が中央 スーツをはじめと した衣料品ならび ージーオーダー

# **&農産物即売会中央支店感謝祭**



た中央支店では、昨開店2年目を迎え

せました。

ウ年初の試みとなるバザーも実施し、賑わいを見ら年初の試みとなるバザーも実施し、賑わいを見いや、「剣誉」の試飲・販売、日用品・雑貨の展いや、「剣誉」の試飲・販売、日用品・雑貨の展に引き続き地場野菜を使用した豚汁鍋のふるま

見られました。

手いっぱいに新鮮な農産物を抱えるお客様の姿が農産物品評会に出品された新鮮な農産物が並び、農産物即売会には、前日に選果場にて行われた

ます。 組合員の皆様には、 がまり御礼申し上げ がまりの悪い中ご来場いた の悪い中ご来場いた



# 消防訓練



しました。 消防訓練を実施 店・南支店にて 大)に本 11 次の全国火災

部出張所のご指富山消防署南

訓練を開始しました。からの出火により1人が逃げ遅れたという想定で市の自衛消防団員ら職員が参加し、3階の湯沸室導のもと、富山方面団熊野分団の団員とJA富山

車による救助・救出を体験しました。様、消防車による放水や3階避難口からのはしご提供の流れを再確認するとともに、実際の火災同消火、119番通報、情報伝達、避難誘導、情報自衛消防訓練計画書に基づき、現場確認や初期



# 防犯訓練



ま数を未然に防ぐという想定の2パ を対し、ナイフと拳銃を用いて窓口職 がし、ナイフと拳銃を用いて窓口職 がし、ナイフと拳銃を用いて窓口職 がし、ナイフと拳銃を用いて窓口職 を付いました。 をいう想定と、息子が会社のお金を という想定と、息子が会社のお金を という想定と、りまり したいと窓口を訪れた高齢者の特殊

ターンで訓練を実施しました。

絡と連携訓練を行いました。実施しながらお客様への説得を試みるとともに、警察署への連した。また詐欺対応では、特殊詐欺を防ぐためのアンケートを担し、情報共有などの迅速な対応と警察署員への報告を行いまか。強盗訓練では、支店職員が通報係や追跡係といった役割を分強盗訓練では、支店職員が通報係や追跡係といった役割を分

きい川東であった。 こう青平正いこご ラの確認・現場保全、すべてにおいて 訓練終了後には、同署の吉田係長より「電話対応・防犯カメ

指導を頂戴しました。然に防ぐための日頃の対応についてごき、カラーボールの使い方や犯罪を未良い訓練であった。」との講評をいただ

い、訓練を終えました。犯意識の向上・強化に努めることを誓防犯訓練を機に、日頃からさらなる防警察署の講評後、稲田専務は、この



1 号

## 第9回定例理事会次第

き 平成30年11月26日(月) 午後1時30分 ところ 本店会議室

## 協議事項

- 1) 上半期仮決算監事監査指摘事項に関する回答 について
- 2) 役員賠償責任保険継続加入について
- 3) 内部監査規程の一部変更について
- 4) 資産査定要領の一部変更について
- 5) 労働組合の要求について
- 6) 富山市内4JA合併について(案)

# 第10回定例理事会次第

き 平成30年12月25日(火) 午後1時30分 ところ 本店会議室

## 協議事項

- 1) 定款附属書役員選任規程細則の一部変更につ いて
- 役員候補者推薦基準の一部変更について
- 3) 役員選任スケジュールについて
- JA自己改革に関する組合員調査の実施につ いて
- 5) 共済規程の一部変更について
- 6) 平成31年産米生産目標数量配分及び 備蓄米・加工用米の取組みについて
- 7) 固定資産取得(リース契約) について (win購買システム並びにCTIシステム の更新について)
- 8) 出資金の減資について

# 富山市内4 J A合併研究会発足

富山県内の4JA(あおば・富山市・なのはな・山田村)は平成30年11月に開催された第47回JA富山県大会で協 議決定した「農業者の所得増大」「地域の活性化」のさらなる挑戦を実践し、自己改革を支える組織・事情・経営の再構 築を行うため、同一行政区にある富山市内4JAが広域合併に関して様々な検討を行う予定です。

富山市内4JAは、広域合併の勉強会を昨年複数回行なっていましたが、本年1月に富山市内4JA合併研究会を発 足させ、より詳細な調査・研究にあたることとしました。

金党党 不棄経由 共南

貝の中からアンケート調査を実施させていただきたいと存じます。 組合員皆様のご理解とご協力を賜りたくお願い申し上げます。

魅力ある地域の農業やくらしを支えるJAとなれるよう、昨年に続き組合 皆様よりこの取り組みに対する評価をいただき、組合員の期待に応え、 JAグループでは「農業者の所得増大」・「農業生産の拡大」・「地域の活 を基本目標としたJA自己改革に取り組んでいるところです。 のご協力をお願いいたします~

性化

# 組合員の皆様へ ~「JAの自己改革に関する組合員アンケート

			;		
新任		氏	名		Œ
<u></u>	高	谷	重	昭	(兼) 共済課 課長
整件 済部 部長	中	野	雄	郎	営農経済部 部長
5農経済部 部長	杉	森	公	宏	<b>営農販売課</b> 課長
兴済課 課長	田	中		到	不動産総合センター長(兼) 営農経済担当 営農経済担当
O. 是販売課 課長 O. 是経済部	村	上	英	之	(兼) 畜産担当 (兼) 畜産担当 営農販売課 課長代理 営農経済部
兼) まんなか市場 店長代理日農販売課 課長代理日農経済部	西西	野	美	絵	営農販売課 課長代理
兴済涉外(LA)担当 <sup>開</sup> 支店 支店長代理	林		鈴	子	共済課 課長代理
不動産総合センター長兼) 営農経済部 購買課程済担当	有	倉		潤	不動産総合センター 不動産係(兼)営農経済部 購買課中央支店 支店長代理
乗) 畜産担当 豊農販売課 販売係 係長 豊農経済部	新	田		誠	営農販売課 販売係 係長営農経済部
平融課 - 貯金為替係	清	水	夕	理	共済窓口係南支店
<b>兴済窓口係</b> 聖支店	前		友	樹	共済渉外係(LA)

金貴貴

世 世

**±** 全

# 福祉ガソリン給油券の

富山市発行の障害者福祉ガソリン給油券の取り 扱いを始めました。

給油の際は身体障害者手帳と、給油券をご持参 ください。



# ご案内申し上げます。 左記のとおり職員人事をおこないましたので

## 3月 税務相談日のご案内

2月12日(火)・25日(月) 3月25日(月)

午後1:00~午後3:00

職員人事(平成三十一年一月一日付)

人事異動